

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	02030101	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	食育推進事業	担当部署名	健康福祉課健康
		作成責任者職氏名	課長 菊井 佳宏
		内線	340
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	02健康・福祉	03食育の推進	01村の特長ある食育の推進
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (23 年度～ 年度)		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	食育基本法
		義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、食育関連事業を推進する。</p> <p>②内容</p> <p>村食育推進計画に基づき、村民や関係団体などと協働しながら食育活動に取り組むとともに、村特有の地産地消の確立や幼・小・中の一貫した教育等、健康、産業、教育・保育の各分野が相互に連携を図りながら、村の特徴ある食育を推進する。</p>	<p>村民</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>村民が食に関して正しい知識と選択する力を身につけることにより、健全な生活習慣や食文化、豊かな人間性を育む。</p>	<p>食育の推進のためには、関係機関・団体・住民との協働が必要である。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		2,718	2,799	2,623	2,822	2,822		
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金	2,454	2,545	2,371	2,555	2,555		
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
	一般財源	264	254	252	267	267		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	0	1,178	1,178	1,178	1,178		
総コスト費(千円)(A+C)		2,718	3,977	3,801	4,000	4,000		
人口あたりコスト(円)		449	656	627	660	660		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	食育関連会議数	回	1	2	200%	1	1
②	目標指標	子ども対象の食育関連事業参加者数	人	200	180	90%	200	200
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 290% / 2 = 145% (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	目的達成のため妥当である。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	健康ちはやあかさか21第2期策定の際に実施した実態調査からの食・栄養の課題に対して計画を立てて実行した。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	健康担当だけでなく、教育委員会・給食センター・学校・農林担当等と連携して事業実施している。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	あらゆるライフスタイルに応じて計画・実施しており、概ね公平であると考え。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14 / 16	88%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
145%	88%	116%	a
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	理由、改善する上での具体的な改善策や課題等
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
現在、大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用して食育を推進しているが、交付金終了後も事業の継続・発展のためには管理栄養士の雇用が必要。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果		
(2)第三者による有識者会議結果	(3)行政経営戦略会議結果	
食に関する知識や健全な生活習慣を育むため、また、郷土食の推進のために必要であり、継続すべきと考える。今後生涯学習と連携し、より多くの村民を取り巻く環境づくりが必要であると考え。	B	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
		A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
食に関する知識や健全な生活習慣を育むため、また、郷土食の推進のために必要であり、継続すべきと考える。今後生涯学習と連携し、より多くの村民を取り巻く環境づくりが必要であると考え。	B	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止